

平成30年度愛媛県自衛隊入隊・入校激励会

平成31年3月5日(火)、ひめぎんホールサブホールにおいて、自衛隊協力3団体(愛媛県防衛協会、愛媛県隊友会及び愛媛県自衛隊家族会)が主催し実施された「平成30年度愛媛県自衛隊入隊・入校激励会」を支援しました。当日は、好天に恵まれ、入隊・入校予定者とそのご家族のほか、自治体首長、自衛隊の部隊長、協力団体の関係者等、約二百五十名が出席され、盛大に開催されました。

激励会は2部構成で行われ、第1部は、入隊・入校予定者一人一人をステージ画面に投影しながら紹介していくところから始まり、主催者を代表して愛媛県自衛隊家族会会長代理として副会長である井伊 眞幸氏が挨拶を述べられました。続いて、県知事代理として県特別参与 上甲 俊史氏から「国民を守る最後の砦である自衛隊の一員としての強い使命感を持って頂き、一段と高まる国民の期待と信頼に応えるべく、訓練や任務、学業に精励されますことを願っております。」(県知事ご祝辞代読)とご祝辞を頂きました。次に、四国地域の防衛等を担任する第14旅団長の代理として出席された副旅団長兼善通寺駐屯地司令 1等陸佐 高橋 武也氏が、ご自身の入隊時の心境を披露し、「不安を抱えていると思いますが、チャレンジすればするほど期待に応える組織が自衛隊であり、一日でも早く仲間になりたい、という思いで取り組んでください。」と、入隊・入校予定者の不安を払拭するべく、ご祝辞を送られました。

そして、激励ビデオメッセージでは、防衛大臣より、「重要な任務を成し遂げるために、自衛隊は高い意欲をもった人材を必要としており、皆さんのこれからの活躍に期待しています。」との言葉を頂くとともに、愛媛マンガリンパイレーツ監督 河原 純一氏から、「自身の経験を参考に「物事がうまく進まなくても、とにかく前向きに取り組むことが重要です。一緒に前を向いて頑張りましょう。」との激励の言葉を贈られました。その後、松山駐屯地で勤務している愛媛県出身の上別府陸士長と橋本陸士長から不安を抱える入隊入校予定者に対して先輩隊員として激励の言葉が送られました。数々の激励の言葉を頂いた後、入隊入校予定者を代表して松山南高校を卒業し、防衛大学校に入校予定である山内 悠椰君が、「愛媛から自衛官としての第1歩を踏み出す我々も、日本を守るという強い意志を保持し、国民の期待に応えるために任務に全力を尽くす、という強い責任感を持って、立派な自衛官になることを誓います。」と、希望を胸に力強く抱負を発表し、愛媛県防衛協会事務局長 折戸 善彦氏から、激励品を贈呈されました。

第2部は、第1部とは打って変わり、自衛隊クイズによる和やかな雰囲気が始まりました。自衛隊にまつわる問題に一喜一憂する中、難問を突破し、見事全問正解した4名には記念グッズが贈られました。次に、中部方面特科隊(隊長 1等陸佐 内野 敏紀)の支援を受け、入隊入校後のおおまかな1日の流れを中部方面特科隊員によるラッパ吹奏とともに紹介しました。最後の第14音楽隊(隊長 1等陸尉 富田 淳子)によるミニコンサートは、陸海空自衛隊行進曲メドレーからスタートし、音楽隊員によるダンスを加えたU・S・A、入隊入校予定者のほか、みきやんやダークみきやんも参加した1分間指揮者コーナーや嵐メドレーにより、来場者を大いに楽しませて激励会を締めくくり、入隊入校予定者の門出を祝福することができました。

入隊・入校予定者全員が安心して入隊・入校できるような支援していくとともに、自衛隊協力団体と連携して引き続きご家族への支援を充実したものにしていきたいと思っております。



ひめぎんホール サブホール(H31.3.5)



協力三団体から激励品の贈呈



中部方面特科隊によるラッパ吹奏



第14音楽隊によるミニコンサート

企業等の研修を実施

平成31年3月13日(水)〜14日(木)の2日間、援護課員4名で企業等研修を実施しました。

初日の日本製鋼所広島製作所では、同社の概要説明を受けた後、陸上自衛隊向けの火砲や海上自衛隊向けの艦載砲の製造及び整備の現場を見学しました。加工中の百五十五ミリリゅう弾砲の砲身や組立中の新型護衛艦の艦載砲を見る貴重な機会を得て、自衛隊の活動が高度な技術を持つ防衛産業によって支えられていることを改めて実感しました。

2日目は、広島地方協力本部にて援護課の概要説明を受け、定年制・任期制隊員の再就職に向けての互いの取組みについて意見交換をしました。広島地本では一年間に複数回の援護広報の実施や、就職活動の進展に応じて就職補導教育を年2回行うなど、愛媛地本においても参考としたい活動を数多く聞くことができました。

その後、援護協会広島支部を訪問しました。援護協会との関係は就職援護業務の実施にとって重要であり、今回の訪問での意見交換等により、その関係を強化することができました。

今後も、積極的にこのような研修の機会を設け、就職援護隊員の職能向上に役立てていきたいと思っております。

UH-1体験搭乗

平成31年1月27日(日)小野演習場において愛媛県の募集対象者及び募集協力者等13人に対し、中部方面航空隊(隊長 森 貴義1等陸佐)の支援を受け、UH-1ヘリコプターによる体験搭乗を実施しました。

当日は、少し曇り空ではありませんでしたが、参加者全員が「松山上空のフライト」を満喫しました。

全般説明、安全教育及び記念撮影を行った後、各グループ約15分間の体験搭乗を実施し、参加者は上空から松山の景色を堪能しました。空の散歩を終えた参加者から、「貴重な体験をありがとうございました。」「最高に気持ちよかったです。もう一回乗ってみたい。」等感想の言葉があり、終始和やかな雰囲気の中、体験搭乗を終了しました。

今後も各部隊の協力を得て、地域住民の方々に自衛隊を深く知ってもらうとともに、さまざまな機会を捉えて募集・広報活動の基盤を拡充していきたいよう邁進していきたいと思っております。



練習船「かしま」体験航海!

平成31年3月13日(水)海上自衛隊呉地方総監部が実施する練習艦「かしま」の体験航海に参加しました。

この企画は、愛媛県内の募集年齢者に対し、体験航海をしながら艦内を見学してもらい、海上自衛隊に対する理解促進と親近感の醸成を図ることを目的としており、今回は愛媛県内の高校生等17名が参加しました。

海上自衛隊呉基地内では、さまざまな艦艇や潜水艦が停泊しており、参加者は乗艦までの間に写真を撮ったり、艦艇の説明を求めたりと人気の高さがかがえましました。

そして、さわやかな青空の下、乗艦した参加者は食堂でブリーフィングを受けた後、上甲板で出港準備の様子や艦艇同士の敬礼を間近で見学しました。司令官の威厳を保つ敬礼とラッパ手の練度の高さが印象的でした。

呉港から江田島に向けて航海中、グループごとの艦内見学では76ミリ単装速射砲や3連装魚雷発射管の説明をはじめ、実習員講堂やサロン、乗員の居住区等を見ることができました。

また、練習艦「かしま」には、護衛艦にはない特別公室があり、レセプションに対する士気の高さに「日本国の顔」としておもてなしの心を持つ艦艇であることが伺え、外観からは認識できない要素も体験できる良い機会となりました。

今後もさまざまな機会を生かして自衛隊をアピールし、自衛隊という職業をより身近に感じてもらえるよう努めたいと思います。



転出

◇大津駐屯地業務隊(大津)へ
新居浜所長から
3等陸佐 森田 賢二

◇松山駐屯地業務隊(松山)へ
今治所長から
1等陸尉 仲谷 政樹

◇松山駐屯地業務隊(松山)へ
募集課 広報係から
1等陸曹 梶田 卓志
(以上3月23日付)

◇第1輸送隊(呉)へ
宇和島所広報官から
3等海曹 後原 史典
(3月25日付)

◇陸幕(市ヶ谷)へ
総務課 国民保護・災害対策連絡調整官から
行(一) 4 原 康哲

◇広島地本へ
募集課 調査専門官から
行(一) 3 橋本 新二

◇徳島地本へ
総務課 総務班長から
行(一) 3 大内 康寛

◇救難団飛行群(入間)へ
援護課 援護企画班長から
1等空尉 二宮 秀司
(以上4月1日付)

新しい勤務地での活躍をお祈りしております。

転入

◇松山所広報官へ
呉基地業務隊から
海曹長 森田 和行
(2月15日付)

◇今治所長へ
第13飛行隊から
3等陸佐 日月 修二

人事

◇新居浜所長へ
和歌山地本から
2等陸尉 岡本 文彰

◇今治所広報官へ
第15即応機動連隊から
陸曹長 藤原 稔
(以上3月23日付)

◇副本部長へ
関西補給処桂支処から
行(一) 6 堀 賢司

◇援護課長へ
関東補給処松戸支処から
行(一) 5 清水 正

◇総務課 国民保護・災害対策連絡調整官へ
防衛医科大学校から
行(一) 4 宮原 勲

◇総務課 総務班長へ
広島地本から
行(一) 3 田中 一徳

◇募集課 調査専門官へ
善通寺駐屯地業務隊から
行(一) 2 天野 瑛子

◇援護課 援護企画班長へ
西部航空警戒管制団(春日)から
3等空佐 木山 好博
(以上4月1日付)

愛媛地本へようこそ!!

◇募集課 募集係長へ
松山所広報官から
陸曹長 松本 恵治

◇援護課 即応予備自衛官係長へ
募集課 募集係長から
陸曹長 山本 実

◇新居浜所広報官へ
松山所広報官から
1等空曹 深田 裕

◇松山所広報官へ
援護課 援護係から
1等陸曹 宮崎 玄光

◇松山所広報官へ
新居浜所広報官から
3等陸曹 野村 元生
(以上3月23日付)

◇副本部長
行(一) 6 越智 泰司

◇援護課長
行(一) 5 山下 任陽
(以上3月31日付)

永年のご勤務、お疲れ様でした。

◇募集課 募集企画専門官
行(一) 3 橋本 和人

◇援護課 援護企画係長
行(一) 3 越智 泰司

◇援護課 援護企画係
期間業務隊員 小林 舞
(以上4月1日付)

定年退職

新規採用

募集情報

募集種目	応募資格	受付期間	試験期日
幹部候補生	一般 22歳以上26歳未満の者 (20歳以上22歳未満の者は大卒(見込含)、修士課程修了者等(見込含)は28歳未満の者)	3月1日 ～ 5月1日	1次: 5月11日・12日 2次: 6月11日～14日
	歯科・薬剤科 専門の大卒(見込含) 20歳以上30歳未満の者 (薬剤科は20歳以上28歳未満の者)		1次: 5月11日 2次: 6月11日～14日
医科・歯科幹部	医師・歯科医師の免許取得者	2月1日 ～ 4月19日	5月10日
技術海上幹部	大卒以上の者で、応募資格に定められた学部・専攻学科等を卒業後、2年以上の業務経験のある者	4月19日 ～ 5月24日	6月24日
技術海空曹	20歳以上の者で国家免許資格取得者等		6月21日
一般曹候補生	18歳以上33歳未満の者 (32歳の者は、採用予定月の末日現在33歳に達していない者)	3月1日 ～ 5月15日	1次: 5月25日 2次: 6月27日～29日 ※いずれか1日を指定されます。
自衛官候補生		年間を通じて行っております。	受付時にお知らせします。

イベント情報

時期	行事名	場所
4月14日(日)	第14旅団創隊13周年 善通寺駐屯地開設69周年記念行事	善通寺駐屯地
4月28日(日)	東温市商工会産業まつり	東温市重信川河川敷
4月29日(月)	西条産業文化フェスティバル	西条商店街周辺 鉄道歴史パーク in SAIJO
5月12日(日)	ぎゅぎゅっと愛南!夏の陣 ～海と山を喰らう～	愛南漁業共同組合御荘支所
5月26日(日)	松山駐屯地創立64周年記念行事	松山駐屯地
6月16日(日)	ふれ愛コンサートin 西条	西条市総合文化会館

みんなで遊びにきてね~!!

